

議会だより



年齢別リレー（地区の期待を担って） ～町民体育祭より～

町民一人あたりこのように使われました

平成16年度一般会計決算 3P

16年度の7会計決算額 9P

一般質問（滝口（新）議員） 10～11P

地域で活躍する団体を訪ねて

男の料理教室 13P



Nishikatsura

平成17年10月26日発行

堅実な財政の運営により 基金8千300万円積立

一般会計賛成討論



宮下友義 議員

平成16年度西桂町一般会計決算は、歳入総額19億2千975万1千481円、歳出総額18億4千85万6千530円。昨年度比、歳入で26・2%の減、歳出で27・1%の減であります。

本決算での特筆事項は、減債基金等1億5千万円予算計上した繰入金を取り崩すことなく、公共施設整備基金を、新たに8千300万円を積み立て、繰越額を多額に残した内容であります。

従って、財政状況を示す、財政力指数、経常収支比率、起債制限比率は、良好であり、他の町村に勝る健全な行財政運営の

推進が図られております。

特に、起債制限比率は、県下市町村の中でも極めて良好な水準であることは、厳しい自主財源の当町におきまして、安易な借り入れに頼らず限られた財源の中で堅実な財政の運営が行われている結果であると言えます。

今後、三位一体改革が進められて行く中で、地方交付税が減額されようとしておりますが、これに代わる財源確保の為に、企業誘致の推進、町税収納率の向上策、歳入の見直しや経費の削減に向け全庁一丸の体制づくりを行い、安定的な財政運営の確保を期待します。

最後に、前田町長の提唱する「第2次・活き活き西桂」の建設に向けて、更なる努力を要望して、賛成討論といたします。

平成17年9月定例会本会議

平成16年度 一般会計決算

歳入 19億2千975万1千481円

歳出 18億4千085万6千530円

町税収納率増加のため 滞納者対策強化を要望

監査委員報告



永田光明 監査委員

一般会計他6会計の決算審査の結果、関係諸帳簿並びに諸書類等符合し、間違いなく適正に執行されており、財務事務も正しく処理されているものと認め、今後なお一層の努力を要望いたしました。

監査に基づいての意見

①財政状況

実質収支比率は、7・68%で対前年度比0・47ポイント上回り、今後も、予算編成時・決算見込額調査時に正確な精査を行い、健全な実質収支比率に近づけるよう強く要望いたしました。

財政力指数は0・354%、自主財源総額は、7億1千961万円、歳

入合計における自主財源比率は37・9%の状況にある。自主財源の柱である町税は現年度の徴収率は、対前年度比0・3%の増であるが、滞納者対策をさらに強化するよう要望いたしました。

経常一般財源比率は、100・7%で対前年度比0・5上回っております。

経常収支比率は、74・8%で対前年度比2・2上回っております。これは、公債費の増加によるものです。財政構造の硬直化が進み、弾力性を失っております。

公債費比率は、9・72%。財政構造の健全性が脅かされない為にも10%を超えないことが望ましいと思います。

②町債残高

平成16年度町債残高は、一般会計と特別会計を合

わせて35億5千270万5千円で前年度と比べ6千376万8千円増加している。財政上厳しい状況にあると思います。

(臨時財政対策債含)

③町税

調定額に対する収入率は88・38%で、対前年度比0・04ポイント上昇していますが、強制執行の措置等を早急に講じ、収入未済額・不納欠損額の解消に、全職員が一丸となつてあたることを強く要望いたしました。

④性質別歳出の状況

人件費6・1%減、西桂中学校校舎新增改築建設事業終了により、80・8%減、公共施設整備基金に8千300万円積立されました。見直しや抑制が図られ努力が伺えたと思います。

⑤特別会計

A 国民健康保険特別会計

国民健康保険税収入率の状況は年々低下。財源確保の上からも、収入未済額の解消には、税の公平性の観点からも滞納世

その他

物件費

7万6千860円



事務経費一般、臨時職員賃金、業務委託料等

5万8千076円

維持補修費、積立金
繰出金、投資出資金等

人件費

7万2千154円



主に常勤の職員の給与
町長、議員及び
各種委員等の報酬

町民一人あたり
このように
使われました

平成 16 年度
一般会計決算



公債費

5万5千994円

(うち国・県が賄う額 8千881円)
実質一人あたり 4万7千113円)



毎年度、償還すべき
町債の元金、利子

投資的経費

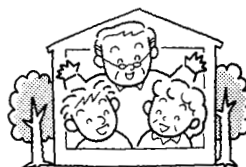
4万0千284円



大型備品の購入
町道水路
建物の建設 等

扶助費

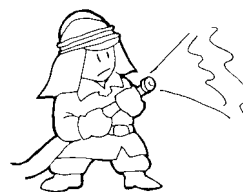
2万4千365円



施設措置費、福祉手当
医療費助成、敬老年金

補助費等

4万5千741円



他市町村との広域業務
負担、各種団体への
補助等

町の借金

町の総額

35億5千270万5千円

(3 特別会計を含む)

〔介護保険特別会計
簡易水道特別会計
下水道特別会計〕

町民一人あたり

72万0千776円

(うち国・県が賄う額 45万3千479円)
実質一人あたり 26万7千297円)

町の貯金

町の総額

13億7千492万2千円

(土地を除く)

町民一人あたり

27万8千945円

B 三ツ峠グリーンセンター 事業特別会計

今後の取組課題として、
費用対効果、コストとの
バランス、利用者負担に
よる料金見直し等を継続
し、地域住民の福祉向上、
都市住民との交流促進の
場所とするため一層の健
全運営を要望しました。
顧客・業者管理の徹底
と事務管理の徹底をも要
望いたしました。

C 簡易水道・下水道 特別会計

下水道は順次供用開始と
なるので受益者への啓蒙
を行い、加入世帯の増加
を図る策が必要だと思っ
ております。

⑥財務事務監査

支出伝票事務について、
財務会計システムの導入
により入力に際して細心
の注意を払い、財務規則
に則り迅速かつ正確な事
務処理を行ってほしいと
いう要望をいたしました。

町税の徴収対策は 県職員との共同徴収を検討

9月定例会・連合審査会

平成16年度一般会計決算

問 町税の徴収対策は。

総務課長 町税の徴収を毎週木曜日は夜8時まで実施しております。また、土日にも実施しております。町県民税の徴収については、県職員との共同徴収を検討しています。

意見 代理者に取り立てを依頼する方法もあると思いますので、公平性を欠いてしまわないよう、徴収の努力をしていただきたい。

問 健診の結果、どのように効果が現われているのか。

住民福祉課長 各種健診の平成16年度の結果は、胃がんの健診317名、子宮癌健診282名、肺癌健診741名、乳癌健診237名、大腸癌健診350名、肝臓癌健診415名の検診がありました。

住民福祉課 早期発見が図れるように、検査を受けるよう促しております。昨年は大腸癌検診で1名

早期発見で見つかりました。

意見 早期発見で1名発見、結構な事です。このような検診は、さらなる啓蒙を図り、未然防止を図っていただき、更なる努力をお願いしたい。

問 有害鳥獣事業は改善しているのか。

企画振興課長 有害鳥獣はサル・イノシシの被害です。昨日、山梨県の研究所の調査では、サルは現在、湯ノ沢方面3km奥にいます。

改善が図られているという事になりますと、自主努力が必要であります。残り物が有りますと、その周辺に居ますので、残り物の無い様にして頂く。

サルが出たら、音を出す等をしていけば、サルは少なくなるとアドバイスをしていただきました。今後につきましても、地域住民の皆様と協力しながら対策をしていきたいと思



松くい虫の被害による伐採

います。

問 松くい虫対策の効果と今後の見通しは。

企画振興課長 松くい虫については、効果は非常に難しく当町でも100%

補助による松くい虫枯損木緊急除去事業を推進して、対策に苦慮しています。

問 富士五湖シルバー人材センターへの、西桂の会員登録人数は何人か、また、どのような業種か、登録した人が公平に作業をしているのか。

企画振興課長 西桂町で

は現在34名が会員登録されています。西桂町での主な作業ですが、水道の検針、芝桜・散策路下刈り、そばの芽・ウコン、倉見サイクリングロード草刈等依頼しております。平均に仕事が出来るように要望しています。

意見 出来るだけ公平なかたちで、仕事が出来ること等を要望します。

意見 近隣の市町村も情報教育に、力をいれているので、連携していきながら、できるだけ経費の削減に努めていた

9月定例会 審議案件

「専決処分」1件
承認5 平成17年度西桂町一般会計補正予算第2号議定

○衆議院議員選挙費を追加した補正予算です。支払期日との関係上専決処分とした。

「議決案件」5件

議案31〜35 市川三郷町、甲州市及び中央市の設置、上九一色村の区域の一部を甲府市に編入すること並びに上九一色村の区域の一部を富士河口湖町に編入、小淵沢町を北杜市に編入に伴う組織及び規約の変更関連議案

○市町村合併に伴う組織及び規約の変更

「案例」2件

議案第36号 西桂町手数料条例の一部改正

○「社会保障に関する日本国とアメリカ合衆国との協定の実施に伴う厚生年金保険法等の特例等に関する法律」が平成17年10月1日から施行されることに伴う改正議案第37号 西桂町ホームヘルパー派遣手数料条例の一部改正

○介護保険法等の一部を改正する法律が6月29日に公布され、「認知症」が定義されたことによる改正

「補正予算」3件

平成17年度各会計補正予算

○別記説明

「決算」7件

平成16年度各会計決算

○別記説明

中学校図書室開放日の追加は 住民のニーズを把握し検討

い。
これからの時代を担う子供たちに、ふさわしい情報教育をつけていただくよう検討していただきたい。

教育次長 経費の節減についてですが、パソコン機器は、リースで借りております。リース期間満了後は、安価な借上料で済みますが、日進月歩の機械ということもあり、それが本当に良いのか、経費の節減と絡めて総合的に判断していきたいと思えます。

問 エレベーターの保守点検に、毎年毎年44万1千円必要経費として出さなければならぬのか。また、過日、東北で地震があったときに、エレベーターで異常があったかどうかお聞きしたい。

教育次長 中学校のエレベーターの保守点検は、法定点検が義務付けられています。過日の地震の時は、異常ありませんでした。

企画振興課長 グリーン

センターのような、不特定多数の宿泊者等がある施設では、エレベーターを設置しなければいけません。その中で、エレベーターの保守点検は月に一度と、年に一度、時間をかけて再点検をしている状況です。

地震の件ですが、グリーンセンターでの異常は、ありませんでした。

土曜日曜日は子供たちがドアを開け閉めして危ないので、強制で止めてしまふという事も、安全対策上しております。

建設課長 いきいき健康福祉センター等のエレベーターは、地震があったとしても、1階に油圧で降りるようになっており、ドアが必ず、開くようになっていて、途中で止る事はないと思います。

問 第2・第4土曜日開放で304人、もつと中学校図書館開放日を増やす計画はあるのか、また、昨年の325万円は、西桂の人口約5千で割れば、一人約651円の金額に

なり、多いと思うが、その辺の見解は。

教育次長 昨年中の図書購入費は、寄附が105万円ありまして、特別に多くありました。図書室の第2・第4土曜日開放については、住民のニーズを的確に把握する中で、検討していきたいと思えます。

意見 西桂の場合、中学校に図書室があるので、犯罪等を考慮して、大勢の人に親しんでもらうように考えていただきたい。

教育次長 少し懸念する所があるとすれば、中学校の施設なので、一般開放の公営図書館としては限界があります。町には中央図書館というものがありますので、中学校図書室を代用しています。需要が著しく増大すれば中央図書館の設置も考えなければならぬと思いますが、現状では住民ニーズを把握する中で施策の検討をしていきたいと思えます。



第2・4土曜日開放の中学校図書室

9月定例会日程

9月2日議会運営委員会

9日本会議開会

◇町長所信表明

◇町長議案一括上程
(議案31、40、承認5、12)

一括説明

◇決算監査報告

一括質疑

◇各常任委員会付託
連合審査会
付託議案審査

15日連合審査会
付託議案審査

22日本会議再開

◇付託議案総務委員長
報告
(承認5、議案31、38、承認6、10)

◇付託議案建設文教委員長報告
(議案39、40、承認11、12)

一括質疑・討論・採決

◇一般質問



グリーンセンターの経営状態改善 引続き改善の努力を

9月定例会・連合審査会

平成16年度国民健康保険会計決算

問 国民健康保険税は、不納欠損額が25・8%と増加しているが、資格証明書等の交付などの対応が必要との監査報告がありました。国民健康保険税の交付に対して何らかの対応をとっていただき、収入の未済額をできるだけ抑え、不納欠損は可能な限り0に近づけるよう努力していただきたい。

その辺についての考えは。

住民福祉課長 滞納の方で納める気の無い方には、資格証明書を発行しています。滞納者で分納している方には、1ヶ月の短期保険証を発行し、税金を納めれば、保険証を発行しています。

意見 人命に影響する場合同があり、それぞれ基本的人権があるので、その辺を考えた上で収納率の向上に努力をしていただきたい。

問 当町でも、透析関係の病院の話が進行中との

ことですが、現状の透析患者数と、医療費がどれ位支払われているのか教えていただきたい。

住民福祉課長 厚生医療と国保と合わせて透析患者10名で、国保では1名です。人工透析では、本人負担が1月1万円。医療費は、外来で、年間1人約600～700万円、入院で約1千万円です。

問 予備費が当初予算と額が違うのは。

住民福祉課長 当初、医療費は平均で見込みますので、どうしても低くなりますので、足りない分を予備費から充当します。

問 出産育児一時金は、国保は30万円で、社会保険も同じ金額か。

住民福祉課長 社会保険については、30万円より多いと思います。

問 30万円は、西桂独自の金額か。

住民福祉課長 県内どこ

の市町村も同じ金額です。

平成16年度介護保険会計決算

問 介護1・介護2などの認定する人が、町内にいるのか。

住民福祉課 主治医の意見書及び、保健師の作成する訪問調査表の2つの資料により、富士北麓介護認定審査会（富士吉田市・西桂町・忍野村・山中湖村の共同設置で、委員は各自自治体より推選）で審査します。西桂町では、山角会富士吉田診療所の先生・しまだ歯科の先生・社会福祉協議会のケアマネジャー・在宅

で保健師の資格を持つている方、計4名が、富士北麓介護認定審査会で介護度要支援から介護度5までを、決める委員になつています。

問 居宅介護住宅改修事業での住宅改修サービスの一戸当たりの金額と、制約があるのかお尋ねしたい。

住民福祉課 住宅改修費用が最大で20万円まで、最高の支給額が、世帯1件あたり、18万円までです。



大型バス等駐車場予定地（正面）
グリーンセンター付近

平成16年度 グリーンセンター 会計決算

問 ふれあい館・ログハウスの稼働率について説明を。

企画振興課長 ふれあい館の宿泊は、平成15年度2千997名、平成16年度3千305名。入浴は、平成15年度3万8千483人、平成16年度3万8千666人です。稼働率については、ログハウス約11・52（休憩を含みます）。ふれあい館約8・9（休憩を含みます）で、土日は、休憩を含むと80%の部屋が使用されます。

ふれあい館稼働率は、休憩を含みますと、約25・30、になると思います。

意見 皆さんの努力で、グリーンセンターの経営状態は改善しつつあると理解してよいと思います。引き続き努力をしていただき、益々改善されていくようお願いしたい。

水を無駄に流さないように 漏水対策、有収率の向上に努める

平成16年度 一般会計決算ほか 全議案が全員賛成で原案可決される

9月定例会・連合審査会

9月定例会は平成17年9月9日に招集され、同日に本会議、この後会期中に連合審査会、本会議が開催され、14日間の会期をもって、22日に閉会いたしました。

町長より専決処分1件、議決案件5件、条例2件、補正予算3件、決算7件が提案され、全ての議案が原案のとおり可決・承認されました。

平成16年度簡易水道会計決算

意見

簡易水道特別会計は、独立採算制で、収入の主なもの水道使用料。当町でも、一般会計からの持ち出しも相当あり、対策を考えていただきたい。

水道課長

現行50円プラス消費税ですが、75円取らないと独立採算制の水準にはなりません。平成14年度に料金改正をしています。今は5年経ってから料金改正をしていく考えです。

問

一般会計から1千946万4千円の繰入、水道事業債1千600万円。ただ単純に料金を上げればという考えは簡単なようだが、ある程度、合理化等、漏水などは、きめ細かくしていただき、漏水が0に近い方法でみる事ができるか。

水道課長

漏水は、本管の整備が進み良くなつてきています。現在の有収率は70%位です。残りの30%は、神社・公民館・

公園（水道料は無料）も含まれます。漏水の主な原因は、各家庭の本管からの取り出しですので、今後の検討課題です。有収率の向上に努力していきたいと思っています。

意見

一般の人が下水道とつながると水道料金が3倍になるという恐怖心があり、料金もなるべく安く設定していただき、一般の人に理解をしていただくように改善していただきたい。

意見

町の借金も毎年毎年増えています。当町も単独でやって行こうという中で、皆さんにご理解してもらわなければなりません。

水道課長

起債のピークは平成18年度にありまして、1千669万9千円になります。これは、元金が967万4千円、利子が702万5千円、これが最高の数値です。19年から21年に、昭和55年の起債が全て終了していきますので、新しいものだけになります。

平成16年度下水道会計決算

問

下水道の使用料の1件当たりの平均支払額は、

水道課長

9・10月が10件で4万7千830円、11・12月が10件で4万7千710円です。

問

一般家庭では、4千700円から4千800円位だと理解してもらうという事でよろしいか。

水道課長

はい、2ヶ月分で、水道料金の概ね倍と説明させていただいております。一般家庭で、2ヶ月で35〜40m³です。例えば40m³使えば水道料

金は2千円、下水道料金は、4千円という解釈で説明しています。

問

起債が相当の金額が載っており、今後どのように推移していくのか。

水道課長

下水道の完成が平成43年3月に終了する予定です。長期的に事業計画を作成しています。

意見

供用開始の所は、極力、接続を願って、その使用料でまかなっていくのに最大限努力をしていただきたい。



第2新南区配水池予定地（タンク手前）

会 計 名	補 正 額	補正後の予算総額
議案38 一般会計3号補正	3千370万円	17億6千288万4千円
○合併処理浄化槽設置事業費の追加 492万6千円 合併処理浄化槽設置件数が増加したことによる追加計上です。 ○都市公園管理事業の追加 1千554万6千円 都市公園・登山者・三ツ峠グリーンセンターの利用者の為のバス等の駐車場としての土地購入・測量設計の為の追加計上です。 ○道路橋りょう維持費の追加 300万円 下暮地区の上河原橋にひび割れ等が見つかったための補修工事による追加計上です。		
議案39 簡易水道会計1号補正	189万円	1億5千250万7千円
○簡易水道維持事業費の追加 189万円 冬季の水道管破裂に備えての修繕費の追加計上です。		
議案40 下水道会計1号補正	2千927万6千円	2億6千169万3千円
○公共下水道施設整備事業費の追加 2千902万6千円 小沼長塚地区への下水道整備を図る工事費の計上です。		

『自然との共生づくり』

「三ツ峠登山道整備事業」については、三ツ峠登山道沿いの「またのぞき」周辺整備、また、憩いの森公園附近の町有地を利用した、森林整備活動の実施を考えています。

『コミュニティづくり』

まず「医療サービスの拡充」については、柿園地内にある町有地に、透析のできる診療所の建設に向けて、事務手続きを進めています。

続いて「介護予防事業」については、「いきいきサロン」と題し、民生委員のご協力で、倉見「ほえみの会」と上町「二葉会」が発足し交流会が開始されました。

続いて「高齢者の生きがい対策事業」として、さくら公園のシバザクラの管理事業をシルバー人

教育施設の充実 中学校屋外トイレ完成

材センターに委託する中で実施をしています。

『育ち学ぶ環境づくり』

まず「教育施設の充実と地域開放の推進」ですが、中学校屋外トイレは、9月末日に完成です。中学校図書室に、中国桂林市靈川県の歴史・文化等のコーナーを設け、国際交流の推進をしてまいりたいと存じます。なお、小・中学校の県研究指定校・心をたがやす国語力向上推進事業の公開授業を11月5日に中学校、11月18日には小学校で予定しています。豊かな人間性が育つ国語教育・確かな学力と伝えあう力を育てる研究主題とのことであり、その成果が今後の教育に実践されることに期待しております。

続いて「地域ぐるみの青少年育成活動の活性化」についてです。青少年育

成総合対策事業で、全町を挙げた青少年健全育成が図られたところであります。

続いて「生涯スポーツの振興」であります。過日の郡体育祭において、4つの競技で優勝をしましたので報告をします。

『活力づくり』

「農林漁業体験交流事業」では、サツマイモ収穫祭は10月の予定です。

続いて、「三ツ峠グリーンセンターにおける交流拠点の形成」です。年間

を通じての利用促進を図ってまいります。

『安全安心づくり』

「保全松林緊急保護整備事業」について。松くい虫による被害の対策については、伐倒薬剤処理により実施する計画です。

続いて「農業基盤の整備」ですが、尾尻農道支線新設については、循環できる道路が年度内に完成いたします。

『都市づくり』

まず「狭隘な道路及び



完成した中学校屋外トイレ

●●●●● 平成16年度の7会計決算額 ●●●●●

会 計 名	歳入歳出決算差引	事故繰越繰越額	実 質 収 支 額
承認6 一般会計	8千889万4千951円	0円	8千889万4千951円
(活・活重点施策区分) [主な事業と決算額] (歳 出 総 額) (カッコ内予算計上額)			
○自然との共生づくり 2千494万4千円 (2千568万2千円) ゴミ収集事業 [16,362千円]、合併処理浄化槽設置整備補助事業 [8,466千円]			
○コミュニティづくり 5千788万6千円 (6千508万3千円) 各種保健事業 [29,996千円]、延長保育事業 [4,055千円]、一時保育促進基盤・障害児保育事業 [2,879千円] 児童館開放 [5,667千円]、高齢者生きがい対策事業 [5,039千円]、在宅サービス (居宅生活支援) [2,618千円]			
○育ち学ぶ環境づくり 6千048万2千円 (6千066万3千円) 中学校施設等整備事業 [29,840千円]、小学校施設等整備事業 [1,628千円]、インターネット情報教育の推進 [17,638千円] 英語助手の活用 [3,600千円]、生涯学習事業 [2,856千円]、生涯スポーツの普及 [1,620千円]			
○活力づくり 4千478万3千円 (4千725万2千円) 商工会補助 [5,500千円]、織物工業協同組合補助 [3,500千円]、三ツ峠グリーンセンター運営管理事業 [30,482千円]			
○ふるさとづくり 2千488万2千円 (2千513万1千円) 桜の里管理事業 [1,331千円]、保全松林緊急保護整備事業 [5,839千円]、尾尻農道支線新設事業 [14,089千円]			
○都市づくり 3億1千780万7千円 (3億4千092万4千円) 町単道路整備事業 [21,931千円]、町道宮下中野線拡幅事業 [32,402千円]、西桂町簡易水道整備事業 [61,993千円] 西桂町公共下水道整備事業 [179,083千円]			
○参加と連携づくり 3千506万2千円 (3千540万7千円) 国際交流 [2,011千円]、業務系ネットワーク運用事業 [19,304千円]、職員系ネットワーク運用事業 [3,336千円]、 行政間ネットワーク運用事業 [4,447千円] ふるさと夏まつり事業 [3,500千円]、情報公開事業の展開 [1,781千円]			
会 計 名	歳 入 総 額	歳 出 総 額	歳入歳出決算差引
承認7 国民健康保険特別会計	3億9千333万9千582円	3億9千020万6千264円	313万3千318円
承認8 老人保健法特別会計	4億6千623万5千496円	4億5千204万4千941円	1千419万0千555円
承認9 介護保険特別会計	1億8千853万7千285円	1億8千765万7千278円	88万0千007円
承認10 グリーンセンター特別会計	5千899万8千192円	5千672万1千349円	227万6千843円
承認11 簡易水道特別会計	1億2千094万5千987円	1億1千831万1千247円	263万4千740円
承認12 下水道特別会計	2億8千958万6千405円	2億7千985万1千115円	973万5千290円
繰越明許費繰越額		467万0千円	実質収支額 506万5千290円

橋梁の改良・整備」についてですが、町道宮下中野線拡幅については、来年3月までには完成させ、また、町道三ツ峠線の内、幅員が狭小である入田地区の拡幅工事を着手したいと考えています。

続いて「公共施設の整備・更新」における「都市公園の整備」ですが、登山者や公園を訪れた人達等のための駐車場造成を進めていきたいと思っています。

続いて「簡易水道事業の推進と経営の強化」ですが、松久保ポンプ場については廃止し、自然流下による給水に切り替えたことにより、電気料の節減及び漏水個所の改善がなされ事業の効果が図られました。

今年度も引き続き、第2新高区配水池の建設の推進を図っております。

『参加と連携づくり』

まず、「国際理解の推進」についてですが、去る8月に、環太平洋学生キャンプ事業を実施しました。また、同月、第4次西桂町友好訪中親善使節団が訪中いたしました。

続いて「総合行政システムの拡大」についてです。業務系ネットワーク運用事業においては、窓口での戸籍簿等の発行業務が迅速化されました。

続いて「情報公開・行政評価への取り組み」ですが、情報公開条例と個人情報保護条例を制定・公布いたしました。来年3月までには行政改革大綱を策定し、町民の皆様にもお示しできと思っています。

続いて「市町村合併について」であります。町単独でいく方向を議会及び町民各位と協議して確認しています。

最後に、西桂警察官駐在所が西桂町商工会下の町有地に移転します。また、甲府地方方法務局都留支局は、大月出張所と統合されることとなりました。

いっぱい

質 問



町政を問う ここが聞きたい!!

問 自立に向けた町づくりは

答 積極的に行財政改革を行い、 行財政基盤の確立に努める



滝口新一朗 議員

問

7月27日、県は市町村合併推進審議会を設置いたしました。

現在の国家財政の危機的な状況を考えますと、合併する・しないに関わらず、これからの自治体運営は大変厳しくなっております。当分の間は、町単独存続を目指す当町といたしましては、早急な地域戦略が求められております。全国各地に点在しております自立を目指す各町村におきましても、ある町では自立のための自立タウンミーティングの開催や自立のためのマスタープラン策定委員会等の設置、意識改革と

行財政改革等々、自立に向けた取り組みを精力的に実施されていると伺っております。

当町におきましても、広く町民との協働により活力ある町づくりを進めていくことが大切であると考えます。自立に向けた取り組みについて町内外に向けてメッセージを送ることも視野に入れたお考えについてお伺いたします。

町長

自立に向けた町づくりについてのご質問ですが、市町村合併は、将来にわたる地域のあり方や住民生活に大きな影響を及ぼす事柄であり、町民全体の主体的な取り組みが必要と判断しております。

私としては、歴史的経緯や市町村合併アンケー

ト調査、地域住民との意見交換会などの結果を踏まえ、当分の間、町単独で行くことを町議会及び町民総意の判断と考えています。

さて、今後の行財政運営の基本方針及び財政のより健全化対策についてですが、国の財政が危機的な状況にある中で、歳入面では、税金・消費税・交付税、歳出面では、年金・医療・介護・教育・少子高齢化・子育て支援などの対策について、先行き不透明な部分が多数あり、全国の地方自治体で苦慮していると推測しています。

私は、地域住民のご理解のもと、積極的行財政改革を行って、「山の心・水の心のある町・いきいき西桂」を将来像と定めた、第4次長期総合計画に掲げた7つのまちづくりビジョンに沿った、「活・活西桂」建設のための重点施策を推進し、さらに、引き続き、歳入歳出全般にわたる抜本的

な見直しを全庁的に行い、安定した住民サービスを将来にわたって継続していくための行財政基盤の確立に努める所存であります。

合併する・しないにかかわらず、全国の各市町村で「自立に向けた町づくり」計画などを作成し、住民との協働により「活力ある町づくり」を推進している市町村が多数あると聞いています。

当町においても、最近の経済社会情勢の変化や国の進める三位一体改革の動向を踏まえ、スリムでフットワークの良い行政体を構築し、質の高い町民サービスを提供するための基礎となる「第2次行政改革大綱」を策定するため、10名の町内有識者による行政改革推進委員会を設置し、今後のスケジュール等、策定に向けた意見交換会も合わせて実施したところであります。

今回の行財政改革においては、「職員一人一人

が参画し、全庁体制で取り組む行財政改革」をモットーに、職員の意識調査及び職員提案の募集、並びに事務事業評価なども取り入れて実施しています。

また、事務事業の再編・整理・廃止・統合、指定管理者制度の活用を含めた民間委託等の推進、定員管理の適正化、手当の総点検を始めとする給与の適正化、経費節減等の財政効果など、平成18年度からの5ヶ年の大綱を、平成18年3月を目途に作業に入っていくところであります。

いずれにいたしましても、市町村合併は当面西桂町は単独で行くこととし、「町政は町民のためにある」ことを肝に銘じ、「自立に向けた町づくり」の考え方がまとまった時点で、議会内に設置された市町村合併調査特別委員会にお示しする中でご意見を拝聴し、取りまとめてまいりたいと考えております。

問 人口減少社会と少子化対策は

答 安心して子育てのできる環境づくりに努める

問 人口減少社会と少子化対策について、お尋ねいたします。

厚生労働省の人口動態統計の速報によりますと、今年の上半期、我が国の人口は3万1千34人の減少と示されました。同省の統計情報部は、今年1年で人口減になる可能性は否定できないとしております。国の次世代育成支援対策推進法が制定され、全国の市町村に対し、平成17年度を初年度とした次世代育成支援の行動計画の策定が義務づけられております。

しかしながら、このところの少子化の指標とされる合計特殊出生率の底がみえない低下傾向を考えると、国の対策も、ほとんど効果は上がっていないと言わざるを得ま

とから、次の世代を担う子どもたちを安心して生み育てることができ、環境づくりに地域社会全体で取り組むことが重要な課題であります。

厚生労働省の発表では、平成16年の「一人の女性が一生の間に子どもを産む数」の「合計特殊出生率」を1・29と推計しており、現在の人口を維持するには、2・08でなければならぬと言われています。

当町の人口千人あたりの「出生率」については、ここ数年10人前後で横ばいの傾向にあり、全国平均の8・9人を上回っております。

町では、子育てを支援していくため、次世代育成支援行動計画を策定したところであり、この計画では、「地域で支える子育てのまちづくり」、「生きる力を育む、心身

ともにたくましい人づくり」、「子と親にやさしい安心育児環境づくり」の基本方針のもとに、施策

の展開を図っているところであります。

また、子育て支援のため、よい親子関係育成のために、各種乳幼児保健事業で、ひよこ学級・キッズサロン・すくすく1歳育児相談等を実施しております。保育所においては、早朝保育・時間延長保育・乳幼児保育・障害児保育・一時保育等を実施しております。児童館では、児童健全育成事業の推進のため、学童保育・子ども祭り等各種事業を行っています。

また、教育委員会では、青少年育成のため青少年育成西桂町民会議を中心に体験教室をはじめ各種事業を展開しているところです。今後もこれら事業の充実を図り、安心して子育てのできる環境づくりに努めてまいります。

また、財政的な支援についてですが、出生奨励祝金・乳幼児医療費・児童手当の支給については、国県との連携を図り引き続き助成してまいります。

町長

人口減少社会と少子化対策について

の質問にお答えいたします。

少子化の進行は地域社会の活力を低下させ、住民生活に重要な影響を及ぼすことが懸念されるこ



児童館こども祭り



ひよこ学級 おやつ作り

みんなの声

西桂町議会では、議会だよりを通じて町議会や町に望むこと、議会だよりを読んだ感想などを募集しています。

皆さんの貴重なご意見・ご感想などを今後の議会活動に反映させてまいりますので、積極的なご参加をお願いいたします。

最近 農道等の両側に雑草が伸びて交通の妨げになっている所があります。環境のためにも美化対策をお願いします!!

八月十四日のそう峠ふるさと夏祭り前夜祭のとうろう祭りでは幻想的な灯籠さんのとうろうと共に、きれいな花火も多く打ち上がり楽しいひとときが過ぎました。一人でも多くの人に楽しんでほしいと思います。

ハズラ約五千三百本、西桂には多くを祈ってあります。

太この写真がよかったです。

全国的に省エネが叫ばれている今日、西桂町の公共施設では誰もいない部屋に電気が長時間無駄についている。役場職員一人一人が十分節電を心がけてほしい。指導をお願いします。

国際友好交流をより親密にしたいと思っております。七年目を迎えるという節目が、目的を達成するためにメソッドがあるか、早くにも必要ではないかと。

犬の散歩もしながら川を見る事が多いのですが、水は汚れていないのにゴミがたくさん捨てられていていつも残念に思います。

さらに住み良い町を目指し議員の活躍と成果町民の参加と通しての期待と満足感が伝わります。

クロスワードパズル

今号の賞品：「手作り味噌」とバナジウム水のセット

正解者のうち抽選で10名の方に、写真の手作り味噌にバナジウム水(各1ケ)を添えてプレゼントします。二重枠に入る文字を並べ替えて、答えを完成させてください。

応募方法：答えと住所、氏名、電話番号、議会だよりを読んだ感想や議会へのご意見を書いて、はがき、FAX、E-Mailにてご応募ください。

締切は11月30日(当日消印有効)です。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

1	2		3	4
7			11	
8		5		
9			6	
		10		



たてのかぎ

1. ○○○○○町議会だより
2. 地層、岩石のすき間や割れ目に存在し、重力の作用によって流動する水
3. 日が暮れてからまだ間もない時(宵)
4. 徳のあること、(有徳)
5. 過去、現在、○○○
6. おおやけ、朝廷のこと(公家)

よこのかぎ

1. つねひごろ。○○○○○茶飯事
7. 商品が市場で売買される値段
8. 我が国第2の湖、○○○ヶ浦
9. 高い所からおちること
10. 威光があつておごること。(威厳)
11. 綿などの繊維を細く長くひきのばして、よりをかけたもの

ヒント

グリーンセンターの正式名称は町営○○○○○グリーンセンター

〒403-0022 西桂町議会広報編集委員会
Tel 0555-25-2121 Fax 0555-20-2015
E-Mail gikai@town.nishikatsura.yamanashi.jp

「みんなの声」のご意見・ご質問に回答いたします。

意見

全国的に省エネが叫ばれている今日、西桂町の公共施設では、誰もいない部屋に電気が長時間無駄についている。役場職員が十分節電を心

答

ご指摘の点について、は、総務課長が職員一人一人に十分節電を心がけるよう注意させますとのことです。

男の料理教室

〔取材 滝口（新）・滝口（幸）〕



料理の手際の良い参加者の皆さん！

問 正式な教室名を教えてください。

榎田さん 男の料理教室です。

問 いつから活動をしているのですか。

榎田さん 平成16年4月から始めました。

問 どのような方が参加していますか。

皆さん 62歳から80歳までの男性が参加しています。

問 参加者数と活動内容を教えてください。

皆さん 参加者数は16名です。月に1回いきいき健康福祉センターで料理教室をしています。

問 代表者と指導者の名前を教えてください。

皆さん 代表者は、榎田保健師さん、料理の指導は、富士河口湖町の太田好美先生です。太田先生は西桂町の出身です。

問 参加しての感想は。

伊藤さん 妻の具合が悪くなった時に、家でも実習をしないといけないと思いました。

小澤さん 同じものを作

るにもコツがある。

広瀬さん カレーと肉じゃがを、専門に作っていますが、料理は慣れないと、なかなか身につかない。

渡辺さん ここで教えてもらった料理を週に1回くらい作るようになり、妻に誉められます。

武藤さん 包丁の使い方が、最初より上達しました。

小林さん 妻と一緒に料理をするようになりました。

武藤さん 楽しく料理を作った後で会食ができる

のを最善に思っています。

問 今後の目標は。

榎田さん 高齢化社会を迎えるにあたり、男性も自立した生活、食に関心を持つていただきたい。

奥さんと一緒に料理や後片付けをして、体を動かして健康維持に努めていた

皆さん 今では、料理教室のおかげで、自分の分の後片付けをするようになりました。

男の料理教室に参加した方は、いきいき健康福祉センターの榎田保健師まで連絡をしてください。



美味しそうな料理の試食（正面右奥、太田先生）



議会だよりや議会全般、町行政についてのご質問・ご意見・ご感想をお待ちしています。寄せられましたご質問・ご意見等には議会広報編集委員が責任を持ってお答えいたしますので、下記までお寄せください。

〒403-0022 西桂町議会広報編集委員会 TEL 0555-25-2121 FAX 0555-20-2015
E-Mail gikai@town.nishikatsura.yamanashi.jp

西 桂

フードギャラリー



いっぱい入るかな！(ガンバレ) ～ 小学校運動会 ～



青春の燃える戦い ～ 中学校螢水祭 ～



綺麗だね！パラバルーン ～ 保育所運動会 ～

県下町村議会広報コンクールにて

優秀賞を受賞



去る平成17年9月29日、第23回県町村議会広報コンクール表彰式が行われ、当町議会だより第46号が写真部門 優秀賞【(株)東洋インターフェイス社長賞】を受賞しました。この賞は議会広報を発行している県下16町村中第2位に与えられる賞ですが、これに慢心することなくさらなる努力をしてみたいです。

編集メモ

今年は、9月の末になっても変に蒸し暑い日が続いています。さて、9月の定例議会も終わり、「議会だより」49号発刊となりました。この「議会だより」が皆様の手に届く頃には、秋も深まり、農作業などに忙しい毎日だと思います。日頃は、議会に対する、ご意見ご指導ありがとうございます。

私共から一つお願いがあります。家庭の中で、町や議会、学校での事を話し合い、もっと、お子様の意見や考え方などを聞けたらと思います。よろしく願います。これから紅葉の時期になり、山々がきれいな色に変わりますが、朝夕は冷え込んできます。皆様、どうか健康には十分気をつけて、頑張ってください。

編集委員長 滝口新一朗
副委員長 梅原和男
委員 滝口幸雄
委員 若林泰置
委員 渡辺正一